

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児童デイサービスセンターくれよん		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 17日		～ R8年 2月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	R8年 2月 17日		～ R8年 2月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小規模な事業所のため、職員間の連携がとりやすく、利用者や保護者のニーズにも応えやすい。	職員間で日々会話する場面をたくさん持ち、利用者の状況、気づき、保護者からの要望などをしっかり共有している。	口頭での報告に終わってしまっていることもあるので、もっと記録を充実させ、計画性のある支援を目指したい。
2	職員の資質・支援の向上、専門知識・技術の強化を図る専門研修、スキルアップに努める機会がたくさんある。	積極的に専門研修、課題研修、外部研修へ参加し、参加できなかった職員には内容の伝達を行っている。また、法人内に複数の事業所があるため、情報の共有や、他事業所からもアドバイスをもらうよう心がけている。	時には法人内の他事業所の支援にも参加させよう等して、視野を広げていきたい。
3	活動室が広く、車いすや歩行器を利用している利用者も十分にスペース確保ができています。 ボール遊びや体を動かす遊びも楽しむことができる。	十分なスペースはあるが、歩行器で歩行練習やボール遊び・体を動かす遊びをする際は、他の利用者たちにしっかり知らせ、ぶつかりや転倒がないよう配慮している。	体を動かす遊びの他、じっくり集中して遊ぶスペースをもっと充実させ、レイアウトの工夫をしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動室は広くメリットも多いが、区切りがなく、クールダウンする部屋がない。	不穏になった利用者が落ち着くまで滞在できる部屋や少し静かな場所で活動したいと思う利用者に提供する部屋がない。	自分たちの事業所のみでは改善が難しい課題のため法人に訴えていきたい。
2	職員の確保はできているが、見守り支援員としてシルバー人材センター派遣員に協力を要請して見守りを依頼している状況が続いている。	放課後利用の際は、利用者の送迎場所や時間が異なるため、職員が滞在できない時間が発生する日がある。	シルバー人材センター派遣員の負担をなるべく減らせるような配慮を考える他、情報の共有もしっかり行い、利用者の安心・安全を確保していきたい。
3	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関）、障がい福祉、保育、教育等との連携が薄い。	今までの体制として弱い部分が改善されずに継続されている。	少しずつステップを踏みながら慎重にコミュニティを広げ、支援に役立てていきたい。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障がい児童デイサービスセンターくれよん

年 2月
26日 R8年2月 日

利用児童数 9名

回収数 8名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動スペースが十分に確保されていると思いますか。	6	1		1	見たことがない。	SNS等を利用し情報を発信していく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	6		1	1	配置人数を知らない。	契約の時には提示していると思うが、再度しっかり情報提供していく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていますか。	5	2		1	見たことがない。	SNS等を利用し情報を発信していく。
適切な 支援の 提供	4 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7		1			
	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で放課後等デイサービス計画が作成されていると思いますか。	7	1				
	6 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1				
	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか。	7	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5	1				
	9 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1				
保護者 への 説明等	10 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	2		1		
	11 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1				
	12 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	3		2		
	13 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1				
	14 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5		1	2		
15 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1					
満足 度	16 子どもは安心感をもって通所していますか。	7	1				
	17 子どもは通所を楽しみにしていますか。	7		1			
	18 事業所の支援に満足していますか。	7	1				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	障がい児童デイサービスセンターくれよん		公表日		R8年 2月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	部屋が広いので、マットや畳を利用して落ち着いて過ごせるスペースを作っている。	静かに作業したい時やクールダウンが必要な時の部屋が同じ建物内がない。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		シフト表を基に安全な支援ができるよう事前に話し合い、毎日確認を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		絵カードなどを利用し可視化を図っている。	いろいろな遊びに興味を持てるようなレイアウトをもう少し充実させたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		こどもが帰宅後、掃除・消毒を行っている。整理整頓された空間を用意している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		感覚の特性を理解して感覚過敏なこどもに対し、個別の部屋を準備している。	同じ建物内に部屋が確保できていない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを念頭に置き、毎日の話し合いを行っている。	職員間の共有はできているが、もう少し記録を充実させたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表の結果について話し合う機会を設けている他、保護者との日々の連携も大切にしている。	今年度は年度内に担当職員の変更があったため、時期が遅れてしまった。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎月1回ミーティングを行う他、毎日気付いたことを話し合うよう心がけている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後の課題として検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月ミーティングを行い資質の向上を図る他、研修参加についても積極的に周知している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		会議を開催し、一人一人にあった個別支援計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		会議を開催する他、職員間での報告や情報交換を日々しっかり行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		会議の開催の他、計画書などをいつでも確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々に合わせて活動を適宜組み合わせ、計画作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		規模が小さく職員も少ないので、連携がとりやすい環境である。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日に共有した上で、翌日のシフトにも載せるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		記録は大切なものと認識しており、徹底している。	今後もう少し充実させていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。		○		「地域交流活動」がほとんどできていないため、地域交流も図っていきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		個々に応じた支援方法を実行している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			整えてはいるが、より一層連携できるよう、努めていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		リスクもあることから、実現できていない。今後の課題として検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡ノートを活用する他、送迎時に様子を伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		今後の課題として検討していく。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもや保護者の意見や意向をしっかり傾聴するよう、心がけている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		普段から相談しやすい環境づくりに努めている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		今後の課題として検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		○	季節ごとにお知らせを発行している。	SNS等をもっと活用していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ミーティングなどで定期的に周知徹底を図っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		子どもたち一人一人に合った方法を見つけて実践している。手探り状態ではあるが、今後も続けていきたい。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		今後の課題として検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		急な時に慌てないよう、事前に収集した情報や、発作が起きたときの手順を記入したカードを準備し、本人のカバンや車に入れてある。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○		今後の課題として検討していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		今後の課題として検討していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				